



日本地質学会 第116年学術大会 岡山大会

後援：岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・山陽新聞社

## 市民講演会

(入場無料)

2009年 9月5日(土)

13:30~16:30

(開場 13:00)

会場：さん太ホール

岡山市北区柳町2-1-1 山陽新聞本社ビル1F

JR岡山駅から市役所筋を南へ徒歩15分

または路線バス5分「山陽新聞社前」下車

入場無料・事前申込必要

申込先は裏面をごらんください

# 大地から 考える 地球環境

—地質と生物・農業の深い関係—

安全で栄養豊かな農産物、おいしい日本酒やワイン。それらは、太陽と水があればどこでもできるわけではありません。植物が根をはる大地、その大地をつくる「岩石や地層」の質が作物に大きく影響します。「地質」と「生物・農業」。この深い関係は、皆さんの暮らしに大きくかかわっています。

### 講演1 波田善夫(岡山理科大学学長) 地質と生き物と人々の生活 —ヨーロッパそして 岡山の風景—

各地の森を歩きながら、植物を、そしてその下の地形や地質との関係を考える植物生態学者。岡山の森とそこに生きる動植物や人と地質との関係を、ヨーロッパの例も交えてお話しします

### 講演2 武田 弘(東京大学名誉教授) おいしいワインのできる畑の地球環境

趣味が高じてワイン畑の地質を研究し、名誉ソムリエを授与された鉱物学者が、世界の有名なワイン産地のぶどうとその畑の地質や気候との関係から、広く地球環境のお話を展開します

座談会 講演者ふたりに、会場の皆さんとの対話も含めて進行します

くわしくは裏面をごらんください



## ◆講演者プロフィール



調査中。いつも大地との関係が気になります

### 波田善夫(岡山理科大学学長)

『植物生態学を研究しています。各地の森の様子やそこに生えている植物を調査しながら、その下の地形や地質との関係、森が育んだ地域の文化などを考えています。岡山の森や植生や、そこに生きる生き物や人々と地形・地質との関係を、ヨーロッパの例も交えながらお話しします。さらに、地域の農産物やその土地名産の地酒に関する話題にも・・・』

湿原植生の研究からこの道に入る。湖沼・河川などの水に関係する植生の成立要因解析およびこれら植生の保護・保全、ビオトープ等に関する研究も行っている。「集団としての植物群落の成立要因の解明」が中心課題。これまでに、乾燥化が進んだ国指定天然記念物「鯉ヶ窪湿原」の保護・保全事業(文化庁)や旭川における植生管理と礫河原再生事業(国土交通省)など、数々の自然保護・自然再生事業を手がける。2008年より岡山理科大学学長に就任。

### 武田 弘(東京大学名誉教授)

『月の石や隕石、粘土鉱物の研究をすすめてきました。一方、ワイン好きが高じて有名ワイン産地の地質を調べ、名誉ソムリエの称号までいただきました。講演では、世界の有名なワイン産地のブドウ畑の環境(地質・土壌・地形・気候)や食文化から説き起こして、地質・土壌など広い自然環境理解の必要性をお話しします。』



名誉ソムリエの授与式にて

岩石・鉱物学が専門。NASAでアポロの宇宙船が持ち帰った月の石の研究を行ったほか、南極の隕石の研究、月の裏からやってきた隕石の発見とその研究、粘土鉱物の研究などを行ってきた。日本の月探査衛星「かぐや」のプロジェクトにもかかわる。近年、主要ワイン産地の地質などを現地調査し、「ブドウ畑の自然環境」を雑誌に連載。CD-ROM版を出版した。この研究が高く評価され、2005年に日本ソムリエ協会から名誉ソムリエの称号を授与される。岡山操山高校卒。

## お申し込み方法はこちら

### 「日本地質学会市民講演会事務局」あてに、以下のいずれかの方法にてお申し込みください

(先着順。満員で受付できない場合にのみご連絡します)

- ・ファックス(086-256-9662)
- ・電子メール(fukyu@geo15.gds.big.ous.ac.jp)
- ・はがき  
(〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 岡山理科大学 理学部  
応用物理 野瀬研究室内  
日本地質学会市民講演会事務局)

### <お知らせいただきたいこと>

(いただいた個人情報は当講演会に関わる連絡にのみ使用します)

- ・申込者氏名(複数参加の場合は代表者名)
- ・申込者(代表者)連絡先
- ・参加人数

## 会場ごあんない

さん太ホール(岡山市北区柳町2-1-1山陽新聞本社ビル1F)  
JR岡山駅から徒歩15分 または路線バス5分「山陽新聞社前」下車



## お問い合わせ

岡山理科大学 理学部  
応用物理 野瀬研究室内  
日本地質学会市民講演会事務局  
電話・ファックス:086-256-9662